

ガバナー月信

Governor's

Monthly Communication

Rotary International District 2690 《2018—19》



2018—19年度
地区ガバナー

末長 範彦

Vol. **2**
2018.8.1



幻想庭園／岡山後樂園と烏城灯源郷 名園と名城をライトアップ。春・夏・秋と年3回〈写真提供：岡山後樂園〉

- 2 …… 地区ガバナーメッセージ
- 3 …… 会員増強・新クラブ結成推進月間に因んで
- 4 …… 地区担当委員長挨拶
- 7 …… 地区委員会だより
- 8 …… 長期青少年交換学生募集



国際大会に参加して

地区ガバナー
末長 範彦



トロントから飛行機で1.5時間程のシカゴのR I本部を国際大会に先立って見学してきました。R I本部は米国イリノイ州シカゴ郊外のエバンストンにあります。1987年シカゴ市中心街からこの地に移転、One Rotary Centerと呼ばれ500名以上の職員が世界各地のロータリー会員を日々サポートしています。まずは1905年2月23日にロータリークラブの初の会合が行われた部屋を復元した711号室、東京京浜RCの盛岡公彦氏が制作寄贈されたポール・ハリス像を見学。続いて、アーチ・クランフ・ソサエティ・ギャラリーに行きました。ここはロータリー財団に累計で25万ドル以上を寄付した会員を表彰するために創設されたもので、タッチパネル式画面を使用して、ソサエティメンバーの写真、略歴、ビデオを見ることができ、ほか、ギャラリーの壁に肖像写真が掲げられていました。第2690地区からは岡山南RC延原正PGが唯一表彰されていました。延原PGのRCへの熱き思いを感じた瞬間でした。最後に会長室、理事会室を見学して終了。因みにR I会長は年間の25%しか会長室には来ないそうで残りの75%は全世界を駆け巡っているとのこと。見学の基本が30分程のコースなのですが、短時間でも充分見応えのあるものでした。

翌23日、シカゴからトロント入りをした私たちを迎えてくれたのは随所に設けられた世界大会の看板です。行く先々にロータリーバッジを付けたメンバーに遭遇、中には日本のメンバーも数多く見受けられました。トロントの中心街はビクトリア時代の産業建築物と現代的なデザインと創造性が入り交ざっています。地下鉄、バス、路面電車が縦横無尽に走っていて公共交通機関が発達しているようです。

24日開会式の前にハイアット・リージェンシーにおいて恒例の日本人親善朝食会が開かれました。斎藤直美、石黒慶一R I理事の参加による600人規模の大朝食会です。来賓は三木明R I理事エレクト、バリー・ラシンR I会長エレクト、ポール・ネツェルR財団管理委

員長、マーク・マローニR I会長ノミニ、伊藤恭子総領事の5人でそれぞれご挨拶をいただきました。その後、R財団に寄付ということで斎藤理事からネツェル委員長に金一封贈呈のセレモニーがありました。

開会式に先立ち、コンベンションセンターの友愛の家信任状を届けに行きました。これが私の最大の仕事です。偶然にも入り口でSAAをされていた松本祐二PGにお会いすることができ、信任状の届け先を教えてくださいました。

10時30分からはいよいよ開会式です。ここエア・カナダセンターは1999年にこけら落とし、NHLのトロント・メープルリーフスとNBAのトロント・ラプターズ、ラクロス(NLL)のトロント・ロックの本拠地として使用されています。カナダの屋内競技場としては最大のアリーナで、恐らく2万人程のメンバーが参加されていたようです。まずは国旗入場です。世界100か国以上の入場でしたが知らない国も多く様々な国のRCの存在に驚きを感じました。ゴードン・マッキナリー国際大会委員長の開会宣言、チーフR.ステーション・ラフォームの歓迎挨拶、イアン・ライズリー会長の歓迎の辞、その合間に踊りや手品などのエンターテイメントがあり長時間にもかかわらず、初めての開会式参加でしたが世界の一体感を実感しました。

来年はドイツのハンブルグで6月1日から5日まで開催されます。友愛の家において岡山RCのメンバーとともに登録を済ませました。ぜひとも多くのメンバーの参加をお願いします。

ハンブルグでお会いしましょう。





会員増強・新クラブ結成推進月間に因んで

地区ガバナーエレクト
古瀬 健之

～魅力あるクラブを目指して～

8月は「会員増強・新クラブ結成推進月間」です。ロータリアン、クラブ、地区が新会員の勧誘と拡大に焦点を当てて活動する月です。

私がロータリーに入会した約30年前、当地区の会員は4,000人弱でした。その後20年の間に約900人減少しました。その後の10年間は3,000人を少し超える数で推移しています。退会と入会会員がほぼ同数ということです。

会員増強、拡大は毎年R I会長、ガバナーの最重要課題になっています。会員の減少はクラブの衰退につながる事は火を見るより明らかです。逆にクラブを生き生きとさせるためには老、壮、青のバランスを保ち、常に新しい空気の注入が必要です。更に会員増強は財政や奉仕活動に大きなプラスになり、奉仕プロジェクトの数や規模に有利になります。会員の少ないクラブでは会員増強によって奉仕の理想を推進できることとなります。

退会理由で多いのは要約すると「多忙、高額、魅力無し」と言われています。会員の皆様は企業、組織、団体のトップですから「多忙」は当たり前です。入会前にクラブとして柔軟に対策を講じていただくと退会理由にはならないと思います。「高額」も同様です。問題は「魅力無し」です。私がガバナー補佐を務めていた時、第4グループの5クラブ合同会長、幹事会（今でも定期的に会合を開いています）の懇親会でのことでした。増強、退会防止に熱心で、着実に成果を挙げておられる某クラブの幹事さんに「増強に際し重視されるのは何ですか」と軽い気持ちで聞きました。間髪を入れず答えが返ってきました。「奉仕の心を持った人かどうかです」と。まったく予想しなかったその言葉にショックを受けたことを思い出します。また、約20年前、まだ

女性会員が珍しい頃でした。私のクラブの例会で、他クラブの女性会員の卓話を伺いました。「親睦の会は男女問わず、掃いて捨てるほどいくらでもあります。しかし、ロータリーは奉仕する心を持った人の集まりの会です。奉仕をしない、ただの親睦の会なら私はすぐ退会します」と言われ、目が覚めた記憶があります。その後、このクラブは着実に会員数を増やしておられることを付け加えておきます。

例会に笑いあり、時には議論、討論あり、活気に満ちているクラブ。地域社会に、世界に良いこと（奉仕）をしているクラブ。地域にロータリーを積極的に広報しているクラブ。このようなクラブを目指す努力こそが中・長期的な会員増強、退会防止に最も資すると思います。短期的にはクラブの会長、増強委員長の方任に当たる方が率先して、自ら勧誘していただきたいと思います。そして目標をぜひ達成してください。そうなれば「魅力無し」どころか「魅力一杯」と言われるクラブになるでしょう。

従来ロータリーは新クラブの結成（拡大）を通じて成長してきました。他地区では多様な会員を迎え入れ、異なる時間帯、頻度、形式で例会を開いている新しいクラブが少しずつ誕生しています。ぜひご検討ください。

日本では長い間、会員数が減り続けていたものの、現在は会員減少が和らぎ、やや増え始めています。これは明るい兆しといえます（My Rotary・2017年7月1日）。

最後に、全会員の皆様にお願ひがあります。「魅力一杯」のクラブを目指してください。そうすれば増強、拡大もおのずと目標を達成できると信じています。共に頑張りましょう。

地区担当委員長挨拶

地区会計長・地区資金管理委員会委員長



河原 昭文

地区財政の運営については、省力化、簡素化、合理化の推進による支出抑制、会員増強による収入アップを図るとともに、予算配分を再検討しながら、健全かつ適正な会計処理を行っていききたいと思います。

ロータリアンの魂、すなわち、より良い世界への切望、そして、より良い世界をつくることは可能だという心の奥深くにある真の自覚を呼びおこすために、精一杯がんばりたいと思います。会員の皆さまのご支援、ご協力のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

会員増強・会員選考・職業分類委員会



松島 幸三

2018-19年度会員増強・会員選考・職業分類委員会の委員長の拝命を受けました松島幸三です。平成8年7月に岡山ロータリークラブに入会させていただき、ロータクト委員会委員長、プログラム委員会委員長、広報委員会委員長、交際奉仕委員会委員長、米山奨学会委員長等を経験させていただきました。

2002-03年度幹事に就任し、幅広い経験をさせていただきました。職業分類は、刑事弁護士です。

ロータリーの会員数が低迷しています。会員の高齢化等が指摘されていますが、個々の会員が具体的な達成感や意欲を感じるロータリー活動に参加することが大切であり、その参加し活動することが、新しい会員を呼び込むことになり退会の防止にもつながると思います。

一年間頑張ります。

地区雑誌・広報委員会委員長



岩藤 知義

ロータリーの友は国際ロータリークラブの方針や各地のロータリーのタイムリーな活動情報が満載であり、ロータリアンが目を通し易いように工夫されています。また雑誌に投稿することは、ロータリアンにとってよき交流の場となります。

ロータリーの奉仕活動を広く世間に知っていただき、公共イメージを向上させることは私どもの使命であります。8月5日のクラブ雑誌・広報委員長会議ではロータリーの認知度をあげる有効な手段としてSNSを利用する方法を取り上げました。講師は公共イメージコーディネーター 二神典子様です。ご期待ください。

地区職業奉仕委員会委員長



貝畑 雅二

私の入会の切っ掛けは今から12年前のことです。現ガバナーの末長氏から「年齢を重ねて友人を作るのは難しいし、還暦の今がチャンスだよ」と誘われ思い切って入会しました。組織に所属することへの苦手意識がありましたが、これまで得難い経験ができ、楽しく活動させてもらっています。

私は職業奉仕委員会との縁が深く、今も地区の委員長を仰せつかっています。職業奉仕はロータリーの重要なテーマですが、寄付よりも世の中に必要とされる企業となり、取引先、社員、企業自身が適正な利潤を出すことが社会貢献になると信じています。

地区社会奉仕委員会委員長



白木 章

当委員会の課題は地域社会にどれだけ貢献できるかである。地域各々が独自の問題を抱えているので、地域のニーズに見合った施策を推進することが肝要である。

現在地区の補助金制度を活用した支援活動が各地で行われているが、この制度を1回も使っていないクラブもかなりある。審査が厳しいとか、承認に時間がかかるとかいろいろ理由はあると思うが、テーマや受益者等を工夫して活用して欲しい。災害対策については、大災害が毎年必ず何処かで発生しているので、従来以上に協力していかなければならない。RCC（ロータリー地域社会共同隊）の果たす役割は大きいと考えるので、よろしくお願ひします。

地区国際奉仕委員会委員長



岡本 典久

ロータリーの奉仕の1つの大きな柱である国際奉仕は、他国の人々との交流、他国の人々への援助を通じて、その国々の文化・慣習・問題・将来進む方向性などの認識を培うことによって、国際理解・親善・平和を推進するために、それぞれのクラブ・会員が行う活動から成ります。

国際奉仕はクラブ間で活動に濃淡があり、逆にそれぞれのクラブにおいて趣向を凝らした様々な活動を行っていただいております。

より活発で、より持続可能な国際奉仕活動の実践に向けて、各クラブの皆様には一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

地区担当委員長挨拶

地区米山記念奨学委員会委員長



高田 正彦

2017-18年度に地区米山副委員長を仰せつかり、1年間米山記念奨学会の勉強をしました。本年度より委員長としてその1年の勉強の成果を発揮したいと思えます。第2690地区では今まで行われていなかった“学校説明会（訪問）”を実行し、より一層「創始者・米山梅吉」の基本コンセプトを学校側に知って頂きたいと考えています。

また各クラブでは1人でも多くの“米山功労者”を輩出していただくように啓発活動をしていきたいと思えます。

地区青少年交換委員会委員長



森 健太郎

国際ロータリーが設ける常設プログラムのひとつとして、高校生交換プログラムを担当する地区の責任者として委員長を仰せつかりました。最も重要なロータリープログラムのひとつであると先輩方からご指導をいただき、大変緊張しながら一昨年より準備を進めてまいりました。第2690地区におきましては、今年度アメリカ、カナダから3名の留学生を招聘し、同じく3名の日本人の高校生が選考、準備の段階を経ていよいよ出発間近となりました。事務局の皆さま、委員会のお世話をいただき皆さま、受け入れをご担当いただく各クラブの皆さまには大変お世話になります。今後とも何とぞよろしくお願い申し上げます。

地区青少年奉仕委員会委員長



平田 保二

青少年奉仕は2010年の規定審議会で新世代奉仕として5番目の奉仕部門となり、2013年の規定審議会で青少年奉仕と改称されました。五大奉仕の中で最も新しいので馴染みは薄いかもかもしれませんが、今後のロータリークラブにとって重要な部門であることは間違いありません。

R.Y.L.A（ロータリー青少年指導者育成プログラム）などを通じて才能と熱意を呼び起こし、奉仕と責任感を育てていきたいと思えます。

また、今年度、末長ガバナーは「チャレンジしよう」をスローガンに置いておられますので、それも念頭に置きます。地域社会奉仕にリーダーシップを発揮できる青少年を育成する為にも皆さまのご協力とご参加をお待ちしております。

地区インターアクト委員会委員長



林 光洋

今年度地区インターアクト委員長を拝命致しました岡山RCの林光洋と申します。

インターアクトクラブとは、ロータリークラブにより提唱された、12歳から18歳までの主に中高生のための奉仕クラブです。当地区では現在17のインターアクトクラブが活動しており、奉仕活動を通じて、①指導力と優れた人格の形成、②他者を尊重し、進んで助ける態度、③各自の責任を果たすことや、一生懸命努力することの価値の理解、④国際理解と親善の推進、といった事柄の重要性を学びます。

今年度は、7月に岡山県倉敷市の山陽ハイイツで1泊2日の地区大会を開催いたします。インターアクト発展のため、ロータリアン皆さまのご支援ご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

地区ローターアクト委員会委員長



河内 良忠

このたび地区ローターアクト委員長を仰せつかりました河内と申します。微力ながら、末長ガバナーの指導の下、地区の皆様と協力し、ステキなローターアクトになるように努力する所存です。昨年度の地区大会に参加させていただいた際に全国から多くのアクターが岡山に集ってこれリーダーシップを発揮されている様子は、とてもアカデミックに感じました。それをさらに進めていただくためにはさまざまな活動において四つのテストを意識することが良いと思えます。詳細は、創案者であるハーバートJ.テラー（ハーブ）を検索してご一読ください。

地区学友委員会委員長



梶谷 俊介

このたび、学友委員長を拝命いたしました梶谷です。昨年度は副委員長としてロータリー財団補助金奨学生選考会ならびにオリエンテーションに参加しました。地域や世界に貢献するという志をもって、学びを深めるために留学を決意した若者たちの熱意に感動しました。このような志ある若者をロータリー財団の力を借りてサポートし、彼らに生涯にわたって学友として活躍いただく土壌づくりに微力ながら努めたいと思えます。各クラブから奨学生候補を推薦していただくことがスタートです。どうぞよろしくお願い申し上げます。

地区担当委員長挨拶

職業研修チーム小委員会委員長



山口 一雄

今年度、池上 正委員長の下地区ロータリー財団運営委員会の委員を務めさせていただきます。また、田中信行ロータリー財団担当地区幹事の下、職業研修チーム小委員会の委員長も務めさせていただきます。

私は、平成17年4月に岡山ロータリークラブに入会させていただきましたが、地区のこのような役割は初めてのことで緊張しております。

末長範彦本年度地区ガバナーは『持続的にチャレンジする』とご挨拶の中での述べられておられます。私は委員の皆さま方に協力いただき地区のための小委員会であるようチャレンジしたいと思っております。よろしくお願いいたします。

地区ロータリー財団資金推進小委員会委員長



中島 義雄

末長地区ガバナーの地区目標のロータリー戦略・計画の優先項目で、当地区資金推進小委員会に関わる目標は、「ポリオ撲滅への協力」「ポリオプラスへの寄付」「ロータリー財団への支援」、「ロータリーカード普及への協力」、「米山記念奨学会への支援」です。地区資金推進小委員会といたしましては、各クラブの会員の皆様方のご理解とご支援を賜りながら、地区目標達成のため「チャレンジ」して参りますので、よろしく願い申し上げます。

地区ロータリー財団資金管理小委員会委員長



山上 恭宏

地区財団資金管理小委員会委員長を務めさせていただきます山上です。

地区、クラブの活動にロータリー財団の資金が地区補助金として活用されています。

地区補助金は、ロータリー財団に申請し地区に一括して補助金が支給された後、地区がクラブに資金を支払います。この補助金は地区やクラブのプロジェクトや活動に活用されています。

当地区財団資金管理小委員会は、貴重な補助金を管理することが役割です。当然のことですが補助金はクラブの当初の目的に沿って適切に使われなければなりません。柱となる地区補助金小委員会と協力して責務を果たすよう努力いたします。

地区ポリオプラス小委員会委員長



淵本 定儀

主に5歳未満の幼い子供に感染しやすい「ポリオはもう根絶された」と思っている人は意外と多い。1988年の「世界ポリオ撲滅推進活動」(GPEI)立ち上げ以来、野生型の発症数は99.9%減少し、常在国はわずか3カ国になりました。

しかし、ポリオ発症には国境はなく、どこかで起きている限り、世界中(日本にも)の子供に感染の危険が及びます。今はポリオ撲滅活動の正念場です。

ポリオ根絶活動を持続させるためにも、あなたも「BE THE INSPIRATION」。

そして、「チャレンジ」しましょう。

地区補助金小委員会委員長



田中 信行

今年度地区補助金小委員会委員長を務めます岡山RCの田中信行と申します。今年度は、地区補助金申請を33件いただきありがとうございました。これからいよいよ皆様に申請頂いたプロジェクトが実施されます。地域への貢献や人材育成など多くの社会貢献事業が実施されることと存じます。プロジェクト終了後1ヵ月以内

の仮報告の提出をお願いいたします。

この地区補助金は、3年前に皆さまがロータリー財団にご寄付いただいたお金の25%が、地区補助金となって地区に戻ってくる仕組みとなっています。

財団への寄付とともに来年度の地区補助金事業への申請をご検討ください。

「ロータリー文庫のご案内」

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。

毎月メールで事務局宛に送らせていただきますので、週報などで各会員にお知らせ下さい。

尚、地区HPにはロータリー文庫へのリンクも掲載しております。過去の資料も含めて詳細な情報を得ることができますので、ぜひご利用下さい。

謹んで大雨災害のお見舞いを申し上げます。

このたびの記録的豪雨「平成30年7月豪雨」により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

一日も早く、復旧されることを心よりお祈り申し上げます。

国際ロータリー第2690地区 地区ガバナー 末長範彦



地区委員会だより

地区危機管理委員会



2018年6月10日、倉敷アイビースクエアにおいて、2017-18年度と2018-19年度の合同地区危機管理委員会を開催いたしました。

今回は、講師に国際ロータリー日本青少年交換委員会アドバイザーの近藤真道様をお迎えして、「ロータリー青少年保護と危機管理 我が子と思え、我が家族と思え」と題してのご講演を賜りました。

ご講演では、長年にわたり青少年交換の活動に携わられてこられたご経験からのお話と国際ロータリーの危機管理方針（ゼロ容認方針 Zero tolerance）についてご説明をいただきました。

講演後には、委員の質問にも丁寧にお答えをいただき、学ぶことの多い委員会となりました。

私は、2018-19年度地区危機管理委員長を拝命いたしました。

まず、ロータリアンの皆様には、「青少年と接する際の行動規範に関する声明」及び、性的虐待およびハラスメントの防止に関する国際ロータリーの指針をお読みいただきたいと思います。ロータリアン、クラブ、地区は、活動を行う上でこれに従うべきものとされています。この共通の認識のもとにロータリー活動を行っていただきたいと思います。

そして、今一度、クラブ内で危機管理について話し合っていただくことをお願いしたいと思います。

最後に、万が一、事故が行った場合は、まず地区危機管理委員会（委員長）宛に報告をお願いします。

参考文献：1) ロータリー章典2.130青少年の保護 2) ロータリー青少年保護の手引き

2018-19年度地区危機管理委員会 委員長 池上 正

米山記念奨学委員会

岡山国際交流センターにおいて、庄司尚史パストガバナー・末長範彦地区ガバナーエレクト同席のもと、米山記念奨学会の指定校選定委員会と地区米山記念奨学委員会が行われました。2018-19年度第2690地区の割当て学生数は20名と決定しているの、前年までの実績を踏まえ14校が決定いたしました。前年度まで第2690地区では、ロータリー米山奨学生となる学生の推薦を学校側にお願いするにあたり米山記念奨学会の基本コンセプトを学校側に伝える“学校説明会”を行っておらず、留学生が偏る傾向がありました。しかし、2018-19年度ではまず採用数の多い3大学から“学校説明会（訪問）”を行う、ということが決定いたしました。これにより若干ではありますが、奨学生の多国化が進むと思われます。



地区米山奨学委員会では地区の寄付目標である普通寄付5,000円と特別寄付10,000円を下回らぬようお願いをし、また四半期ごとに例会において達成額を発表するなど、米山奨学会に対する啓発活動をしていただくようにしました。10月の米山月間には例会において、奨学生に卓話をしてもらうよう推奨しましたが、卓話の内容を奨学生の研究の発表ではなく、「日本を選んだ理由」などクラブメンバーが楽しく聞いてくれるような内容にさせていただくようにしました。

本日の指定校選定委員会はまだ6月ではありますが、この委員会を皮切りに末長ガバナー年度がスタートしました。2019年1月の応募者との面接選考が大きな行事となりますので、気を引き締めていきたいと思っております。

地区米山記念奨学委員長 高田 正彦

国際ロータリー第2690地区（鳥取・島根・岡山）

長期青少年交換学生募集

異文化交流を通じて、未知の自分の可能性を発見してみませんか。

実施要項

留学先：アメリカ合衆国、カナダなど
留学期間：2019年8月から1年間
募集人数：3名

応募資格

- 1) 2019年8月末時点で、15歳から18歳未満の学生
- 2) 異なる文化を受け入れることができ、新しいことに挑戦する意欲を備えていること
- 3) 学校長の推薦があること
- 4) 保護者の同意があること
- 5) 地元ロータリークラブの推薦があること

応募期限

2018年8月31日(金) ロータリークラブ必着

応募方法

応募ご希望の方は、お近くのロータリークラブ事務所、またはロータリークラブ会員まで、お問い合わせください。

選考方法

書類選考、作文、英語の筆記試験および面接試験（英会話を含む）
試験日：2018年11月3日（土）13:00～15:00（予定）
場所：岡山学芸館高等学校

費用負担

渡航に際しての費用は、派遣学生側の負担。海外での生活費および通学費は留学先のロータリークラブが負担。



お問い合わせ

国際ロータリー第2690地区青少年交換委員会

〒700-0816 岡山県岡山市北区富田町2-9-8
TEL：086-222-2690 FAX：086-222-2691
E-Mail：office@rid2690.jp

ロータリーとは

ロータリーは地域社会のボランティアから成るグローバルネットワークです。さまざまな事業や専門職務のリーダーであるロータリーの会員は、世界中で人道的奉仕活動を行い、職業における高い倫理基準を奨励し、国際親善と平和を築くために尽力しています。非識字、疾病、飢餓、貧困、きれいな水の不足、環境問題と言った課題に取り組むため、世界で35,000を超えるクラブがさまざまな活動を展開しています。



国際ロータリー第2690地区
末長 範彦地区ガバナー事務所

〒700-0816 岡山市北区富田町2-9-8
TEL:086-222-2690 FAX:086-222-2691
E-mail:office@rid2690.jp

